

講義名称	日本文化財論	担当教員名	高山 有紀
科目群	人文学 (HUM)		
科目区分等	芸術 CA7 DI5	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	HUM153

授業のキーワード	重要文化財（国宝）、世界遺産、地域と文化財
授業の概要	奈良や京都の著名な文化財、群馬の文化財等を通じて、「文化財とは何か」について学びます。
期待される学習成果（目標）	1、歴史の学習で触れてきた文化財について、改めて正しい知識を得ることができます。 2、めざましく変動する現代社会において、普遍的な価値が存在するのか、ともに考えることができます。

#### 授業展開

回	テーマ	内 容
1	はじめに	授業の進め方について説明します。
2	文化財の基礎知識	文化財に関わる基本的な用語の意味や、文化財保護法について学びます。
3	建造物①	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、建造物を題材に学びます。
4	建造物②	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、建造物を題材に学びます。
5	建造物③	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、建造物を題材に学びます。
6	博物館について	文化財と関わりの深い博物館の果たす役割や学芸員の仕事について学びます。
7	美術工芸①	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、彫刻を題材に学びます。
8	美術工芸②	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、彫刻を題材に学びます。
9	美術工芸③	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、絵画・工芸品を題材に学びます。
10	美術工芸④	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、絵画・工芸品を題材に学びます。
11	美術工芸⑤	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、絵画・工芸品を題材に学びます。
12	書籍・古文書①	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、書籍・古文書を題材に学びます。
13	書籍・古文書②	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、書籍・古文書を題材に学びます。
14	群馬の文化財	国の重要文化財を中心に、群馬の文化財について学びます。
15	まとめ	本講での学習内容を総括します。

定期試験	文化財1点を選び、レポートを作成します。
授業時間外学習	第1～5講：文化財に関わるニュースに注目し、主体的に考えてもらいます。第6講：～10講：中間の課題を出します。第11～15講：授業でわからなかった語句の意味を調べてもらいます。
評価方法	授業への取り組み（リアクションペーパー、中間課題等）30パーセント、レポート70パーセント
使用する教科書（必ず購入してください）	プリントを配布します。
参考文献	池田寿『日本の文化財 一守り、伝えていくための理念と実践一』勉誠出版 西村幸夫・本中眞編『世界文化遺産の思想』東京大学出版会 立正大学仏教学部監修『文化財保存学入門』丸善ブラネット